



令和8年度 富士市立岩松北小学校 グランドデザイン

学校教育目標

【岩松中校区9年間で目指す子ども像】『い・わ・ま・つ』

- い** … いつでも 自分から動く子
- わ** … わたしも あなたも 大事にする子
- ま** … 学びを楽しみ、表現する子
- つ** … つながりながら 成長する子

ふじの教育基本方針
一緒に学ぶ
一生学ぶ
学びを創る

未来を拓く

重点目標

きたえよう！前向きな「心」

学校経営目標：人生を舵取りするための“しなやかな心”を育てる

- ★「授業づくり＝学級づくり」とし、温かな支え合う集団の中で主体的・協働的に学びを深め、「人に優しく、自らがたくましい」子が輝く魅力的な学校づくりをめざす。
- (1) どの子の中にも必ず眠っている「誇り」「意欲」を引き出し、学ぶことを「愉しむ」子どもを育てる。
 - (2) 安心と自由が守られ、のびのびと自分らしさを発揮できる集団づくりと同時に、自他ともに命を大切にする教育を推進する。
 - (3) 挑戦し学び続ける教職員、危機に強く信頼される学校づくりをめざす。

知

自己決定

学び合いの中で“自りつ”する子

- 子どもファーストの視点で授業を展開・子どもが主語となる楽しい授業
- 自分らしさを発揮でき、それを互いに認め合う学びの集団
→新・人間関係づくりプログラム
- 心がフロー状態となる体験的な学習
- ESD・SDGsの実現…「けやき学習」
- 正解のない問いに向き合う「探究」の積み上げ

徳

居場所づくり

しなやかな心を育てる

- 子どもを「面白い存在」と思う
- 子どもの声に真剣に耳を傾け、傾聴の姿勢を貫く…「リスクのものさし」の活用
- 「できたらすてきな。」という希望を語り、願いを引き出し、行動を促す
→ペップ・トークの手法
- 「どうしたらできるようになるだろう？」という自己決定を促す
- トラブルは子どもが成長するチャンスととらえ、本音で話し合う

体

絆づくり

心を燃やし、力を出し切る

- 心に落ちる体験を通して、価値観や生き方を不揃いに磨く
- 共に汗を流す活動によって、他者理解と自己理解
- 自分自身の健康状態への関心を高め、よりよい生き方へ
- 命の尊さを学び、自他共に命を大切にする、自分自身の生き方を考える
→防災教育、安全教育、健康教育を意図的・計画的に実施

安全・安心の場づくり

保護者に頼られ、頼る良好な関係づくり

- 保護者の声にも真剣に耳を傾け、傾聴の姿勢
- 子どもの姿は具体で伝え、事実だけでなくその価値付け
- PTA活動にも積極的に参加し、信頼関係を強く
- 各種サポーターへの感謝の気持ち

地域・外部機関とつながる

- コミュニティスクールとしての学校の役割
- SC、SSWの有効活用
- 児童クラブ・放デイとの情報交換
- 発達障害を抱える児童に関して外部機関と連携
- 岩松小、岩松中との職員とつながり、小中一貫教育を推進
- 園小のつながり、スタートカリキュラム

D

P

A

C

児童会スローガン
みんなであつなぐ
思いやりリレー

UNESCO Associated Schools
 「心の中に平和のこりを築く」
 ユネスコスクールの理念継承

働き方改革の推進
 ○「どの子にとっても居心地のよい学校づくりが最も有効な働き方改革」の具現をめざす
 ○「困った時にはお互い様」を合言葉に

重点目標を意識して 目標90%	学校が楽しい 目標90%	授業が分かる 目標90%	信頼できる先生がいる 目標90%	安心して過ごせる学校 目標90%	ICTの活用 目標95%
--------------------	-----------------	-----------------	---------------------	---------------------	-----------------